

・ 2009/12/28 今年度は 5 件の論文審査を担当しました。

体力科学 3 件(和文 1, 欧文 2)、[The Journal of Nutritional Biochemistry](#)(review 1 件)、[International Journal of Biomedical Science](#) 1 件を審査しました。英文 review の査読はなかなか大変でした。

・ 2009/11/18 本研究室卒業生の秋穂麻衣さんの論文(筋肥大における Notch の役割)が [Life Sciences](#) に accept されました。

Akiho M, Nakashima H, Sakata M, Yamasa Y, Yamaguchi A, Sakuma K: Expression profile of Notch-1 in mechanically overloaded plantaris muscle of mice. [Life Sci 86: 59-65, 2010](#)

・ 2009/11/16 時習館高校～科学技術コミュニケーション I 特別講演会～

SSH 事業の一環で、今年度も講演(約 1 時間)しました。昨年同様「筋肉研究の最前線」という内容で、運動部所属の 1 年生(35 名)が聴講してくれました！

・ 2009/9/18-20 第 64 回日本体力医学会学会発表

新潟市の朱鷺メッセで行われた第 64 回日本体力医学会において、「ヒラメ筋肥大時における新生児型(Neonatal)ミオシン陽性細胞の形態的特徴 -カルシニューリン経路に着目して - 」というタイトルで口演発表をしました。同セッションで座長も勤めました。

・ 2009/4/21 名大との共同研究(ヒトの不活動モデル)が [Acta Physiologica\(Oxf\)](#) に accept されました。

Sakuma K, Watanabe K, Hotta N, Koike T, Ishida K, Katayama K, Akima H: The adaptive responses in several mediators linked with hypertrophy and atrophy of skeletal muscle after lower limb unloading in humans. [Acta Physiol\(Oxf\) 197: 151-159, 2009](#)

・ 2009/2/9 平成 20 年度 教育研究活性化経費成果報告会

「走運動が加齢期の骨格筋萎縮(サルコペニア)を軽減するメカニズムーSerum Response Factor と Atrogin-1 に着目してー」という内容で、口演報告しました。仮説どおりデータが出ず、苦勞しました。

・ 2009/1/17 平成 20 年度豊橋市「スポーツリーダー養成講習会」(in 豊橋市総合体育館)

14 名のスポーツ関係者(水泳協会, 体育指導委員, 老人クラブ連合会 etc)を対象に、2 時間の講演を行いました。予想外の質問もあり、楽しめました。